

これからの小・中学校施設の在り方について

～児童・生徒の成長を支える場にふさわしい環境づくりを目指して～

小・中学校施設整備指針は、教育の場・生活の場として、また、最も身近な公共施設として、必要な施設機能を確保するための留意事項を網羅的に記載。

一方で、小・中学校を取り巻く環境は大きく急激に変化しており、現行の指針における留意事項について不断の見直しが必要。

学習指導要領の改訂、社会状況の変化等に対応するため、「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」(主査:上野淳 首都大学東京学長)において、これからの小・中学校施設の在り方と小・中学校施設整備指針の改訂案をとりまとめ(平成31年3月)。

<学校施設整備指針とは>

学校教育を進める上で必要な施設機能を確保するため、施設計画及び設計における留意事項を学校種ごとにまとめたもの。

報告書の概要

第1章 小・中学校施設整備指針改訂の背景

- ・小・中学校施設整備指針の沿革
- ・学習指導要領の改訂(主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 等)
- ・小・中学校施設を取り巻く現況
 - 学校数・児童生徒数の減少、老朽化の進行、特別支援学級在籍者及び通級による指導を受ける児童生徒の増加 等
- ・その他配慮すべき事項
 - チームとしての学校、地域と学校の連携・協働、学校におけるICT環境整備、新・放課後子ども総合プラン、学校における働き方改革 等

第2章 これからの小・中学校において充実すべき施設機能

第3章 小・中学校施設整備指針の改訂案

今後の小・中学校施設整備において特に留意すべきこと、更に充実を図るべきこととして7つの視点を示すとともに、それぞれの視点における小・中学校施設整備指針の改訂案を提示。

- ① 新学習指導要領への対応
 - ▶ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を促す施設整備
- ② ICTを活用できる施設整備
 - ▶ ICTを日常的に活用できる施設整備
- ③ インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組
 - ▶ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進
- ④ 教職員の働く場としての機能向上
 - ▶ 働く場としてふさわしい環境として整備
- ⑤ 地域との連携・協働の促進
 - ▶ チームとして学校を支える専門スタッフ等のスペース確保
 - ▶ 地域全体の公共施設の状況等を踏まえ、他の公共施設との複合化・共有化等を検討
 - ▶ 放課後の児童の居場所を確保
- ⑥ 学校施設の機能向上
 - ▶ 照明設備や冷暖房設備も組み合わせて良好な環境を確保
 - ▶ 施設や設備とともに、囲障等の工作物も含めた安全性を確保
 - ▶ 洋式便器を採用するなど、生活様式や児童のニーズ等を踏まえた便所を計画
 - ▶ 災害時に避難所となる学校施設では、物資等の搬入を見据え、門等の通行幅を十分に確保
- ⑦ 変化に対応できる施設整備
 - ▶ 教育内容・方法や社会的変化等に対応し、学校施設を長く使いこなすための施設整備

参考資料

現地調査概要(小学校(7)、中学校(4)、義務教育学校(1)) 等